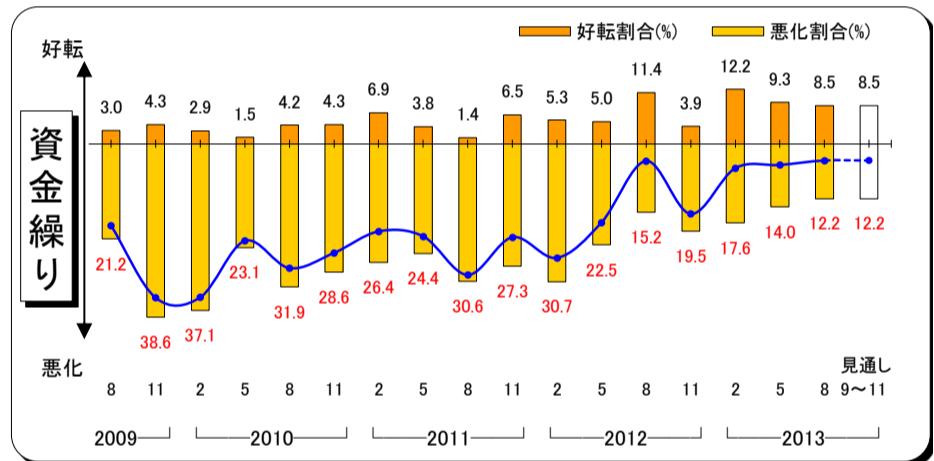
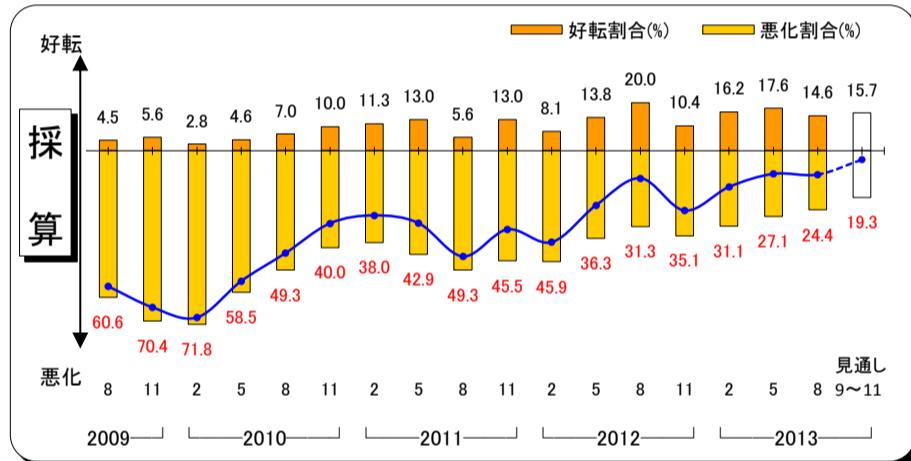
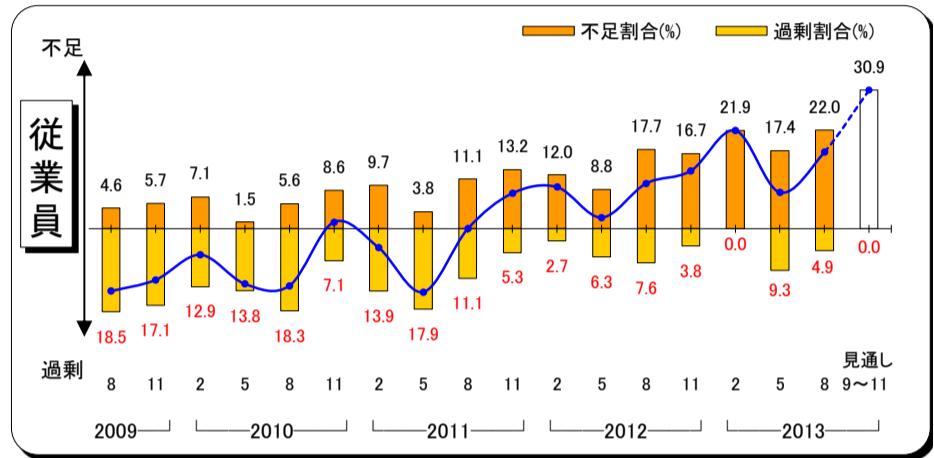
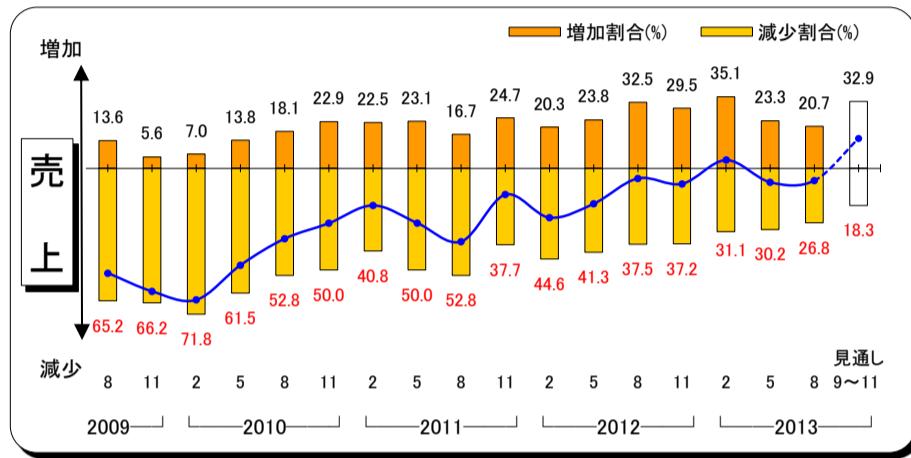
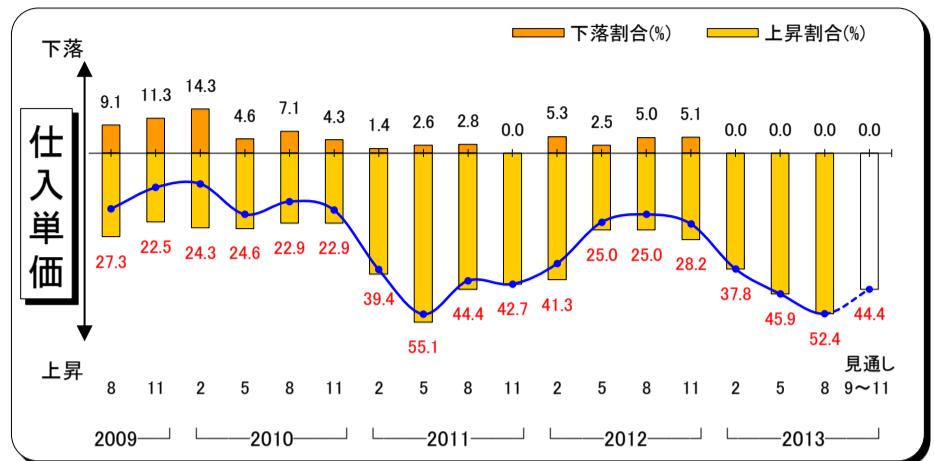
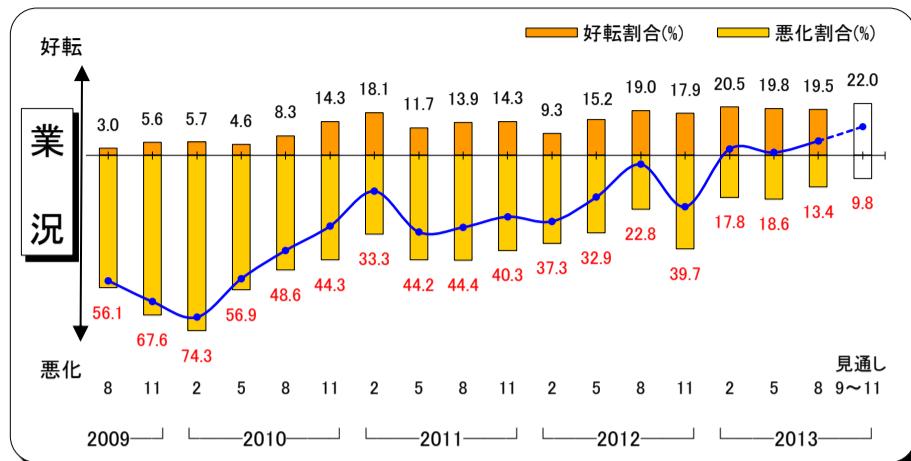


【建設業】①



【建設業】②

企業の声（順不同）

土木建築工事業	入札制度の変更により、受注格差が広がっています。当社も入札金額で最低金額を提示しても、何度も逆転されてしまいました。
土木建築工事業	設備の更新をしたいが、前年までの悪い業績が金融機関に残っている為、現状の好転を反映してくれず、資金難になっている。（特に政府系金融機関の評価）評価の見直しを早急にしてほしい。借換の基準がマイナスになっている為出来ない。
造園工事業	消費税増税の実施の影響で落ち込みがどの程度くるのか不安。
内装工事業	前期とあまり変化はありません。9月以降の入札結果待ちです。
電気工事業	イベントの電気工事で発電機の給油をする時が、この夏何度も（サマーソニックなど）ありました。発火・爆発・人身事故のニュースを聞いて、身につまされる思いです。安全第一をつくづく感じております。
管工事業	大手企業が軒並み景気上昇というニュースを聞きますので、我々零細企業も希望を持てるのかな？と思います。楽しみにしている所です。
管工事業	昨年と同様に発注先の単価引き下げが続いている。企業全体の単価支出は向上するが、受注単価は比例しない。
冷暖房設備工事業	建設業界でも、公共事業の土木工事は増加している模様。それ以外は以前とあまり変わらず、受注競争は厳しい状況が続いているように思われる。
冷暖房設備工事業	原油価格の上昇による資材仕入価格の上昇が懸念される。更に採算悪化が考えられる。